

◎勝利の経典「御書」に学ぶ

それまでの求道と報恩の姿が不十分だったというわけでは、決してありません。それでも、「今一重」と仰せられているのは、信心において一番大切な要諦は、「昨日より今日」「今日より明日へ」という姿勢であることを教えられるためと拝されます

(『勝利の経典「御書」に学ぶ 3』61 ページ)

◎宮崎・都城、小林圀記念勤行会（1991年2月12日）でのスピーチ

これまでの仏道修行の功德が花開くのは、これからである。いよいよの信心で、いよいよの決意をもって、御本仏につつまれた学会員の誉れを抱きしめ、一生涯、私とともに、学会の同志とともに、仲良く「広宣流布の大道」を進んでいっていただきたい

(『池田大作全集』第76巻 240 ページ)

◎人間主義の哲学の光彩

誉れの「大聖人の弟子」として、どこまでも折伏精神を根幹に「一対一の対話」を真剣に実践して、自他の生命変革を遂げていきたい。

題目を唱えに唱え、語りに語り抜きながら、諸仏諸天が讃嘆する仏勅の如説修行の拡大の歴史を勝ち開いていこうではありませんか。

わが真正の弟子の  
勝利を祈りつつ

(「大白蓮華 2025年2月号」21 ページ)